

## 青森県立中央病院総合診療部を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究名	フレイル高齢の入院患者における末梢静脈栄養の有用性の検討
研究責任者	相馬 俊介（青森県立中央病院 総合診療部 副部長）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	急性疾患で入院したフレイル高齢者において経口摂取が充分できない場合に末梢静脈栄養を併用することは通常輸液療法と比較して栄養状態の悪化を防止し、ADL低下を抑止する効果があるかどうかを明らかにする。
調査対象者	2018年4月1日~2022年1月31日まで総合診療部に入院した65歳以上の高齢者の内、特定の基準に合致するものを対象としています。
研究の方法 (使用されるデータ)	電子カルテ等に記載のある診療記録、検査データを利用致します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：017-726-8199 担当者：相馬 俊介（青森県立中央病院 総合診療部 副部長）
備考	